資料2

【調査表A】 第2次千葉市食育推進計画　取組み一覧表（平成26年度実績及び評価と平成27年度実施予定）

【評価基準】a：計画通りに取り組んだb：ほぼ計画通りに取り組んだc：計画通りに取り組めなかったd：事業廃止

基本施策	市の取り組み	No	関連事業	内容 （計画記載内容）	対象	所管	26年度実績	26年度実評価	27年度実施予定
1 家庭・地域における食育の推進	（1）楽しく食べることの推進・望ましい食習慣と知識の習得	1	一人ひとりにとって望ましい食事の理解の推進	健康教育やイベント、食生活改善推進員の地区組織活動等において、食事バランスガイド等を用い、市民にバランスの良い食事をすることの大切さを広めます。	市民	保健福祉局 健康支援課	健康教育、地区伝達活動講習会などで、食事バランスガイド（厚生労働省と農林水産省策定）を利用して、普及啓発を実施。	a	イベント、健康教育、地区伝達活動講習会などで、食事バランスガイド等を用いバランスの良い食事について広く市民に普及啓発する。
		2	食を通じたコミュニケーションの推進	家族・仲間が食卓を囲み食事をすること（共食）の大切さを広めます。また、家庭において簡単にできる料理や、外食や中食の正しい選択の方法等を普及啓発します。	〃	〃	子どもから高齢者まで、手軽に調理ができるように「電子レンジクッキング」のリーフレットを各種教室等で紹介した。元気アップ教室では、デモンストレーションを実施した。	b	世代に合わせた手軽にできる調理方法の提示を目指す。また、外食、中食を正しく選択のするための情報提供を行う。
		3	朝ごはんをとることの普及啓発	朝ごはんレシピを配布するなど、食育活動の中で普及啓発をします。	〃	〃	地区伝達活動等においてレシピカードを利用して、朝ごはんの大切さを周知した。	a	朝食をとることの大切さを知ってもらうとともに朝ごはん向けの手軽なレシピを提案する。
		4	野菜をとることの普及啓発	バランスの良い食事をするため、野菜レシピを紹介するなど、野菜のとり方について食育活動の中で普及啓発をします。	〃	〃	地区伝達活動等において野菜レシピの紹介をし普及啓発した。	a	食事毎に野菜料理を意識できるようレシピ提示し普及啓発する。
		5	若年者を対象とした食育の推進	大学等と連携を図り、若年者をターゲットとした食育活動を展開します。	高校生 大学生等	〃	日程調整がつかずに未実施。	c	大学などと連携を図り、若い世代を対象 とした食育活動を実施する。 平成27年5月31日実施済み（学生7名）
		6	ワーク・ライフ・バランスの推進	「九都県市仕事と家庭生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）推進キャンペーン」などを実施し、働き方を見直して家族で食卓を囲む習慣づくりを推進します。	市民	市民局 男女共同参画課	・ワーク・ライフ・バランスセミナーを実施した。 実施日：平成27年2月5日（木） 参加者数：103名 ・全庁一斉定時退庁を実施した。 実施日：平成27年8月6日（水）	a	・ワーク・ライフ・バランスセミナーを実施。 ・全庁一斉定時退庁を実施。 実施日：平成27年8月5日（水）
		6	ワーク・ライフ・バランスの推進	「九都県市仕事と家庭生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）推進キャンペーン」などを実施し、働き方を見直して家族で食卓を囲む習慣づくりを推進します。	〃	こども未来局 保育支援課	・全庁一斉定時退庁を実施した。 実施日：平成26年8月6日（水） ・男性の育児休業取得促進奨励金を創設するとともに、家事・育児に関する講座やイベントを開催するなど、男性の子育てを支援する取組みを実施した。	a	・全庁一斉定時退庁を実施する。 実施日：平成27年8月5日（水） ・男性の育児休業取得促進奨励金を支給するとともに、家事・育児に関する講座やイベントを開催するなど、男性の子育てを支援する取組みを実施する。
		7	子どもルームの指導員等への普及啓発	子どもルームを運営する千葉市社会福祉協議会に対し、子どもの望ましい食生活についての情報提供を行います。	千葉市社会福祉協議会	こども未来局 健全育成課	子どもルームの「おやつ」について、放課後の時間帯に栄養面や活力面から必要とされるものを適切に提供するよう「放課後児童クラブ運営指針（厚生労働省）」等に基づき、指導した。	b	継続実施
		8	思春期保健対策事業	思春期の子ども及びその親に対して、思春期の心と体の発達を理解し、自分の体を大切にすることを学ぶ教室を実施します。	思春期の子どもと保護者等	保健福祉局 健康支援課	思春期の子ども及びその親に対して、思春期の心と体の発達を理解し、自分の体を大切にすることを学ぶ教室を実施した。 会場数：38回　参加者：3,725人	a	継続実施
		9	「青少年の日」 「家庭・地域の日」の推進	「家庭・地域の日」の取組みの一環として、給食の代わりにお弁当を持参してもらう「お弁当の日」を設けます。	小学生 中学生 保護者	教育委員会 保健体育課	市内全小中特別支援学校において、年2回実施した。	a	「家庭・地域の日」の取り組みの一環として、給食の代わりにお弁当を持参してもらう「お弁当の日」を設けます。
		9	「青少年の日」 「家庭・地域の日」の推進	「青少年の日」である毎年9月の第3土曜日に、「青少年の日フェスタ」を開催し、青少年のコミュニケーション力を高めるとともに、青少年と家庭・地域のつながりを深める機会を提供する中で、お弁当づくり教室、お菓子づくり教室の開催、市内産新鮮野菜の販売など、食を通じての青少年と家庭・地域のつながりを推進します。	市民	こども未来局 健全育成課	「青少年の日フェスタ」を生涯学習センター及び子ども交流館にて開催 実施日：平成26年9月20日（土） 参加者数：4,613人（延べ） ①お弁当づくり教室 ・対象：小学4年生～中学生 ・事前申込制、参加者22人 ②手軽にできるお菓子づくり ・対象：小学1年生～高校生 ・事前申込制、参加者24人 ③市内産新鮮野菜の販売（農政課の協力による） ・対象：来場者	a	「青少年の日フェスタ」を生涯学習センターにて開催 実施日：平成27年9月19日（土） 参加者数（見込み）：4500人 ①お弁当づくり教室 ・対象：小学4年生～中学生 ・事前申込制、参加者（予定）24人 ②市内産新鮮野菜の販売（農政課の協力による） ・対象：来場者

【調査表A】 第2次千葉市食育推進計画　取組み一覧表（平成26年度実績及び評価と平成27年度実施予定）

【評価基準】a：計画通りに取り組んだb：ほぼ計画通りに取り組んだc：計画通りに取り組めなかったd：事業廃止

基本施策	市の取り組み	No	関連事業	内容 （計画記載内容）	対象	所管	26年度実績	26年度実評価	27年度実施予定
		10	災害等の非常時に備えた食に関する普及啓発	食料備蓄の取組み方や献立例など、災害等の非常時に備えた食に関する情報提供や啓発を行います。	市民	総務局防災対策課	防災ライセンス講座（備蓄食料の紹介、平成26年10月～12月、参加者262名）	a	防災ライセンス講座（備蓄食料の紹介） ・平成27年10月～12月に6回開催予定 ・参加予定人数：40人×6回＝240人
		10	災害等の非常時に備えた食に関する普及啓発	食料備蓄の取組み方や献立例など、災害等の非常時に備えた食に関する情報提供や啓発を行います。	〃	保健福祉局健康企画課	特になし	c	ホームページ等で情報提供を実施している食糧備蓄等の備えについて、見やすいようにレイアウトを変更予定。
		10	災害等の非常時に備えた食に関する普及啓発	食料備蓄の取組み方や献立例など、災害等の非常時に備えた食に関する情報提供や啓発を行います。	〃	保健福祉局健康支援課	イベントなどで災害時の食の備えについて広く普及啓発を行った。	a	災害時の食の備えについて広く普及啓発を行う。
	（２）妊産婦と乳幼児等への食育の推進	11	離乳食教室	望ましい食習慣の形成に向けた準備や乳児の咀しゃく力を獲得するため、発達に応じた調理形態や食品の選択等について支援します。	生後6～8か月児の保護者	〃	生後6～8か月児の保護者を対象に、発達に応じた調理形態や食品の選択等の講話及びデモンストレーションや試食を行う離乳食教室を実施　会場数：51回　　参加者：1,818人	a	生後6～8か月児の保護者を対象に、発達に応じた調理形態や食品の選択等の講話及びデモンストレーションや試食を行う離乳食教室を実施します。
		12	母親＆父親学級	「食事バランスガイド」等を活用して、妊娠期・授乳期における望ましい食習慣について支援します。	初妊婦とそのパートナー	〃	1コース3回の1回目に妊娠期・授乳期における望ましい食習慣について指導を行った。会場数：54回　　参加者数：1,155人	a	妊娠期・授乳期における望ましい食習慣について普及啓発します。
		13	妊産婦・新生児訪問指導	助産師等訪問指導員が、訪問を希望する妊産婦・新生児の家を訪問し、出産・育児等に関わる様々な相談に応じます。	妊産婦 乳幼児の保護者	〃	訪問指導員が妊産婦・新生児の家庭を訪問し相談を実施した。 妊婦：5人　産婦：3,741人　　新生児：3,788人	a	継続実施
		14	乳幼児健康診査	4か月、1歳6か月及び3歳児健診において、乳幼児とその家族の望ましい食習慣の啓発やニーズに応じた栄養相談等を実施します。	乳幼児 保護者	〃	乳幼児健診において、集団指導及び個別相談を実施した。4か月児健診　会場数：161会場　　集団啓発7453人　　栄養相談　2,696人 1.6歳児健診　会場数：152会場　　集団啓発 7725人　　栄養相談　1,339人 3歳児健診　会場数：150会場　栄養相談946人	a	乳幼児健診において、集団指導及び個別相談を実し乳幼児とその家族の望ましい食習慣の普及啓発を行います。 4か月児健診　会場数：160会場 1.6歳児健診　会場数：152会場 3歳児健診　会場数：152会場
		15	小児肥満相談	3歳児健診からスクリーニングされた肥満度15%以上の子どもとその家族に対して食事や運動等の相談を実施します。	幼児 保護者	〃	3歳児健診当日及び後日に食事や運動などの相談を実施した。 会場数：278会場　　個別栄養相談　427人	a	3歳児健診からスクリーニングされた肥満度15%以上の子どもとその家族に対して食事や運動等の助言を行います。
		16	子育て中の保護者への情報提供・相談	子育て支援館、子育てリラックス館、地域子育て支援センター、保育所（園）、幼稚園、保健福祉センター等で子育て中の保護者に対し、食に関する情報を提供するとともに、育児や食事の相談に応じます。	乳幼児 保護者	〃	保健福祉センター等で子育て中の保護者に対し、情報提供や相談を実施した。 食に関する電話相談　382件　　所内相談　545件	a	子育て支援館、子育てリラックス館、地域子育て支援センター、保育所（園）、幼稚園、保健福祉センター等で子育て中の保護者に対し、食に関する情報を提供し正しい食習慣について普及啓発します。
		16	子育て中の保護者への情報提供・相談	子育て支援館、子育てリラックス館、地域子育て支援センター、保育所（園）、幼稚園、保健福祉センター等で子育て中の保護者に対し、食に関する情報を提供するとともに、育児や食事の相談に応じます。	〃	こども未来局保育支援課	引き続き、地域子育て支援センター等の育児講座の中で、食育に関する講座同を実施した。会場数　43回	a	子育て支援館、子育てリラックス館、地域子育て支援センター、保育所（園）、幼稚園、保健福祉センター等で子育て中の保護者に対し、食に関する情報を提供するとともに、育児や食事の相談に応じます。
		16	子育て中の保護者への情報提供・相談	子育て支援館、子育てリラックス館、地域子育て支援センター、保育所（園）、幼稚園、保健福祉センター等で子育て中の保護者に対し、食に関する情報を提供するとともに、育児や食事の相談に応じます。	〃	こども未来局保育運営課	子育て中の保護者に対して地域交流等に随時、実施した。	b	認定こども園、保育所（園）で子育て中の保護者に対し、地域活動時等、随時　実施する。食に関する情報を提供するとともに、育児や食事の相談に応じます。

【調査表A】 第2次千葉市食育推進計画　取組み一覧表（平成26年度実績及び評価と平成27年度実施予定）

【評価基準】a：計画通りに取り組んだb：ほぼ計画通りに取り組んだc：計画通りに取り組めなかったd：事業廃止

基本施策	市の取り組み	No	関連事業	内容（計画記載内容）	対象	所管	26年度実績	26年度実評価	27年度実施予定
	（3）健康づくりのための食育の推進	17	栄養相談	食生活の見直し、調理方法や工夫の仕方、食事療法等、保健福祉センター等の管理栄養士が個別相談に応じます。	市民	保健福祉局 健康支援課	保健福祉センターの管理栄養士が個別の相談を実施した。 栄養相談：147件　所内相談：47件　電話相談：70件	a	食生活の見直し、調理方法や工夫の仕方、食事療法等について助言を行います。
		18	食の実践教室	生活習慣病予防や各ライフステージにおける望ましい食生活の普及啓発を調理実習を通じて行います。	〃	〃	生活習慣病予防のための食生活や運動等に関する「食の実践教室」を実施。 会場数：74回 参加者：1,118人	a	生活習慣病予防や各ライフステージにおける望ましい食生活の普及啓発を行います。
		19	健康教育 健康相談	生活習慣の改善を目的に、管理栄養士や保健師等が、一人ひとりのニーズに応じ、健康に関する正しい知識の普及や、個別相談に応じます。	〃	〃	糖尿病予防や骨粗しょう症予防等病態別の健康教育 会場数：251回　参加者延数：9,960人 栄養・口腔・健康等の個別相談 会場数：2,519回　利用者延数：12,917人	a	生活習慣の改善を目的に、管理栄養士や保健師等が、一人ひとりのニーズに応じ、健康に関する正しい知識の普及や、個別相談に応じる。
	（4）高齢期における食育の推進	20	介護予防教室 介護予防相談	高齢者の栄養改善、口腔機能の向上、運動器の機能向上等を図るためのプログラムを提供するとともに、日常生活における介護予防の取組みを支援します。	高齢者	保健福祉局 健康支援課	元気アップ教室（二次予防事業）（直営） 会場数：391回　参加者延数：3,153人 元気アップ相談（二次予防事業） 会場数28回　利用者延数:50人（うち　低栄養　延1人） 介護予防に関する教室、講演会等 会場数：455回　参加者延数：5,929人（食セミ除く）（うち栄養に関する教育　100回1,932人） 介護予防に関する個別相談 会場数：264回　利用者延数：1,227人（うち栄養相談　延267人）	a	第6期介護保険法改正に伴い、平成27年度より、二次予防事業（直営）は廃止 すべての65歳以上の高齢者を対象とした一般高齢者施策（一次予防事業）として、栄養・口腔・運動等介護予防に関する知識、情報を普及啓発することで、高齢者が自主的に継続して介護予防に取り組めるように支援する。
		20	介護予防教室	高齢者の栄養改善、口腔機能の向上、運動器の機能向上等を図るためのプログラムを提供するとともに、日常生活における介護予防の取組みを支援します。	〃	保健福祉局 地域包括ケア推進課	元気アップ教室 開催回数613回 延べ人員数5,399人	b	元気アップ教室 18コース 10～12回/コース 定員20人
		21	食事セミナー	高齢期を健康に過ごすための食生活と運動の実践方法を伝え、実践の継続を支援します。	〃	保健福祉局 健康支援課 高齢福祉課	地域の自治会や老人クラブ等を対象に、介護予防教室を実施した。 会場数：97会場　述べ1,372人	a	65才以上の高齢者を対象に食事セミナー、食事セミナーフォローアップ教室を実施する。
		22	食の自立支援事業 （配食サービス）	おおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者等で調理が困難な方に対し、食関連サービスの利用調整及び配食サービスの実施により、利用者の食の自立を支援します。	ひとり暮らし 高齢者等	保健福祉局 高齢福祉課	延配食数　44,632食 利用者数　　248人	a	26年度をもって、事業廃止

【調査表A】 第2次千葉市食育推進計画　取組み一覧表（平成26年度実績及び評価と平成27年度実施予定）

【評価基準】a：計画通りに取り組んだb：ほぼ計画通りに取り組んだc：計画通りに取り組めなかったd：事業廃止

基本施策	市の取り組み	No	関連事業	内容 （計画記載内容）	対象	所管	26年度実績	26年度実評価	27年度実施予定
1 家庭・地域における食育の推進	（５）歯科保健活動における食育の推進	23	ヘルシーカムカムの開催	「歯と口の健康週間」（6月4日～10日）に歯科医師会と共催でイベントを開催し、むし歯や歯周病による歯の喪失予防や口腔機能の維持・向上を推進するための普及啓発を行い、市民の生涯にわたる健全な口腔保健の確立を図ります。	市民	保健福祉局 健康支援課	「歯と口の衛生週間」にH26.5.25（日）そごう千葉店にてヘルシーカムカムを開催（2,776人）。噛むカムチェックコーナーや楽しい食事の紹介コーナーなどで、噛むことの大切さを、その他多くのコーナーで口腔衛生・疾病予防の普及啓発を行った。	a	歯や口の疾病予防や、噛むことの大切さ、口腔機能の維持・向上を幅広い年齢層に普及啓発を実施します。 実施日：H27.5.24（日）　会場：千葉そごう　参加者数（延）2,609人
		24	乳幼児期の噛む力、飲み込む力の育成	乳幼児健康診査や2歳児むし歯予防教室、幼稚園等歯みがき指導などの各種歯科保健事業を通じ、乳幼児が正しい口腔機能を獲得するための支援を行います。	乳幼児 保護者	〃	乳幼児健診及び母親&父親学級572回25,097人　乳幼児歯科相談　413回　3,049人　2歳児むし歯予防教室　239回　3,233人　幼稚園等歯みがき指導　35回　1,318人　その他の健康教育　50回　1,072人	a	乳幼児期から始まる口腔機能の獲得を支援するため、各種歯科保健事業を通じて保護者への知識の普及を実施します。
		25	妊産婦歯科健診	妊産婦に対し、妊娠中と産後に各1回歯科健診を実施し、口腔衛生の普及啓発及び歯科保健の意識向上を図り、歯の喪失を予防します。	妊産婦	〃	協力歯医療機関(324)にて、妊婦　2566人（32.0%）・産婦　1951人（26.1%）に健診と口腔衛生の知識の普及を行った。	b	多くの妊産婦が受診し、歯科保健の意識向上や歯科疾患予防につながるよう、健診受診のメリットのPRを実施します。
		26	口腔ケア事業	歯科医院において口腔機能の評価、必要な相談・指導を行い、高齢者の口腔機能の向上を図ります。	高齢者	保健福祉局 健康支援課 高齢福祉課	介護二次予防事業対象者へ口腔機能評価・指導を622人（協力医療機関204）に実施した。	a	一般高齢者を対象に、基本チェックリストの口腔項目にチェックのある方及び健康課の介護予防歯科事業参加予定の方に、口腔機能評価・指導を実施し、口腔機能の向上を支援します。
		27	歯っぴ一健口教室	高齢者の口腔機能の向上のためのプログラムを提供するとともに、日常的に実践できるよう支援します。	高齢者	保健福祉局 健康支援課 高齢福祉課	介護二次予防対象者で基本チェックリストの口腔項目にチェックのある方を対象に、4回1コースを24コース、計93回　479人に実施した。	a	一般高齢者を対象に、口腔機能向上に関する知識の提供、実習を行うことで、高齢者が自主的に継続して口腔機能の向上に取り組めるように支援する。
		28	学校歯科事業	歯科衛生士が、小・中学校で実施する口腔衛生指導を通じ、噛むことの重要性について普及啓発を図ります。	小学生 中学生	教育委員会 保健体育課	歯科衛生士が、小・中学校で実施する口腔衛生指導を通じ、噛むことの重要性について普及啓発を図った。	a	歯科衛生士が、小・中学校で実施する口腔衛生指導を通じ、噛むことの重要性について普及啓発を図ります。
	（６）地域における「食」を学ぶ機会の充実	29	男性料理教室	男女共同参画センターや公民館において、男性を対象に、調理に関する知識や技術を習得するための講座を開催します。	市民（男性）	市民局男女共同参画課	・イクメン講座Ⅱ 「父子で楽しくピザ作りを体験しよう」 日時：8月2日（土）10:00～12:00／13:30～15:30 会場：料理実習室A 受講者9組18名（定員各6組12名） ・男性のための料理講座 「魚料理に挑戦しよう」 日時：11月12日（水）10:00～13:00 会場：料理実習室A 受講者10名（定員12名）	a	・男性のための料理講座Ⅰ 「初心者でも簡単！ヘルシー和食を作ろう」 日時：4月24日（金）10:00～13:00 会場：料理実習室A 定員：12名 ・男性のための料理講座Ⅱ 「父子で楽しく作ってみよう！にぎらないおにぎり」 日時：8月1日（土）10:00～13:00 会場：料理実習室A 定員：6組12名
		29	男性料理教室	男女共同参画センターや公民館において、男性を対象に、調理に関する知識や技術を習得するための講座を開催します。	〃	教育委員会 生涯学習振興課	公民館で、「男の料理教室」「男のそば打ち入門」などを実施した。	b	公民館で、「男の料理教室」「男のそば打ち入門」などを実施予定。
		30	食生活改善推進員による地区組織活動支援	地域における食育の推進を担う食生活改善推進員が親子料理教室や食生活改善教室等の地区組織活動を実施します。	市民	健康福祉局 健康支援課	食生活改善推進員（平成26年4月現在285人）が実施する地区伝達講習会を支援した。 　会場数：557回　　参加者数：17,309人 健康づくり支援マップに「ヘルシーメニュー」を掲載した。	a	地域における食育の推進を担う食生活改善推進員が親子料理教室や食生活改善教室等の地区組織活動実施の支援をします。
		31	公民館での食育講座	市民が利用しやすい、公民館・保健福祉センター等で子どもの調理体験や生活習慣病予防のための食生活等をテーマとした食育講座を実施します。	〃	〃	保健福祉センター等で親子料理教室を実施した。 　会場数：15回　　参加者数：398人	a	子どもの調理体験や生活習慣病予防のための食生活等をテーマとした食育講座を実施し食に対する興味を引き出します。地区伝達活動として各区で実施予定。

【調査表A】 第2次千葉市食育推進計画　取組み一覧表（平成26年度実績及び評価と平成27年度実施予定）

【評価基準】a：計画通りに取り組んだb：ほぼ計画通りに取り組んだc：計画通りに取り組めなかったd：事業廃止

基本施策	市の取り組み	No	関連事業	内容 （計画記載内容）	対象	所管	26年度実績	26年度実評価	27年度実施予定
		31	公民館での食育講座	市民が利用しやすい、公民館・保健福祉センター等で子どもの調理体験や生活習慣病予防のための食生活等をテーマとした食育講座を実施します。	市民	教育委員会 生涯学習振興課	公民館で、「子どもクリスマスケーキづくり教室」「ヘルシー料理教室」などを実施した。	b	公民館で、「子どもクリスマスケーキづくり教室」「ヘルシー料理教室」などを実施予定。
		32	ときめきサタディ	千葉市内の小中学生の体験学習や異学年の交流を目的とした「ときめきサタディ」において、千葉市食生活改善推進員等による、お菓子作りや料理教室で健康な食生活に関する講座を開催します。	小学生 中学生 親子	教育委員会 南部青少年センター（生涯学習振興課）	「親子でおいしくておなかが喜ぶデザート作り」（6月7日　参加者数24名） 「ハロウィンのお菓子作り」（10月25日　参加者数8名） 「おいしいクッキー作り」（3月1日　参加者数15名） を実施	a	「親子でおいしくておなかが喜ぶデザート作り」 （6月13日） 「ハロウィンのお菓子作り」（10月24日） 「親子で太巻き寿司を作ろう」（2月6日） 「おいしいクッキー作り」（3月5日） を実施予定
		33	わくわくカレッジ	青少年・一般市民の生活文化向上と健全な仲間づくり及び連帯感の高揚を図ることを目的とした「わくわくカレッジ」において、食生活改善推進員等による食に関する講座を開催します。	青少年 一般	教育委員会 南部青少年センター（生涯学習振興課）	「男の料理教室」 （6月14日　参加者数18名） 「クッキー、ケーキ料理入門」 （11月16日　参加者数18名） を実施	a	「イタリアンピザ料理」 （11月15日） 「和風料理入門」 （2月20日） を実施予定
	（7）食品関連事業者等と連携した食育の推進	34	健康づくり応援店事業	飲食店等が外食、惣菜、仕出し弁当等に栄養成分表示をするとともに、ヘルシーメニュー、ヘルシーオーダー、健康づくりに係る情報提供、禁煙及び禁煙タイムに取り組めるよう支援します。	市民 飲食店等	保健福祉局 健康支援課 食品安全課	健康づくり応援店の取組状況の把握をするとともに、アンケート調査を実施した。 健康づくり応援店　店舗数：255	a	店舗が活用しやすい、健康づくりに係る情報提供の媒体等を提供する。健康づくり応援店の取組について、ホームページに掲載し啓発する。
		35	給食施設指導	給食施設に対して利用者の状態に応じた適切な栄養管理ができるよう必要な援助・指導を実施し、利用者の健康づくりを支援します。	給食施設	〃	給食施設を巡回し、個別指導を実施した。 給食施設数：546施設 個別指導施設数：256施設 給食施設従事者を対象とした研修会を開催して集団指導を実施し、知識の向上を図った。 会場数：7回　　受講者数：781人	a	給食施設を巡回し、個別指導を実施する。（4～2月）給食施設従事者を対象とした研修会を開催して集団指導を実施し、知識の向上を図る。（7回/年）
		36	プロから学ぶ食育	調理師会等と連携し、専門家等から直接指導を受けることができる料理教室を実施します。	市民	保健福祉局 健康支援課	親子料理教室を実施 豆板さん教室（すし）実施回数：1回　　参加人数：26人 そば打ち教室　　実施回数：1回　　参加人数：7人 スイーツ教室　　実施回数：1回　　参加人数：15人	a	調理師会等と連携し、専門家等から直接指導を受けることで食に対する興味を引き出します。豆板さん教室（すし）を緑区、そば打ち教室を美浜区、スイーツ教室を若葉区で実施予定

【調査表A】 第2次千葉市食育推進計画　取組み一覧表（平成26年度実績及び評価と平成27年度実施予定）

【評価基準】a：計画通りに取り組んだb：ほぼ計画通りに取り組んだc：計画通りに取り組めなかったd：事業廃止

基本施策	市の取り組み	No	関連事業	内容 （計画記載内容）	対象	所管	26年度実績	26年度実評価	27年度実施予定
	（1）保育活動や教育活動を通じた食育の推進	37	食育計画の作成	「保育所保育指針」や「保育所における食育に関する指針」に基づき、乳幼児期にふさわしい食生活が展開され、適切な援助が行われるよう保育課程及び指導計画に位置付けられた食育の計画を作成します。	入所（園）児童保護者	こども未来局保育運営課	各保育所に合った食育計画を作成した。	b	「食育計画を作成するための資料」を活用し、各保育所・認定こども園に合った食育計画を作成し実践する。
		38	保育を通じた食育活動	全職員が専門性を活かし、「食育計画」に基づいて、保護者と連携しながら、子ども一人ひとりの発育・発達に応じた食育を推進します。	〃	〃	楽しく食事をしたり、栽培や調理体験等を行ったりして、子ども一人ひとりの発育・発達に応じた食育を行った。	a	全職員が専門性を活かし、「食育計画」に基づいて、保護者と連携しながら、子ども一人ひとりの発育・発達に応じた食育を推進します。
		39	管理栄養士等による個別指導	管理栄養士等と保育士、看護師等が連携し、離乳食や食物アレルギーへの対応、偏食、肥満、マナーなど個別の面接指導を実施します。	〃	〃	管理栄養士等と保育士、看護師等が連携し、離乳食や食物アレルギー等、子どもの状況に合せて個別対応を行い、職員が子どもと一緒に食事をする中で、偏食、肥満、マナーについて取り組んだ。	b	管理栄養士等と保育士、看護師等が連携し、離乳食や食物アレルギー等、子どもの状況に合わせて個別対応を行い、偏食、肥満、マナーなど個別の面接指導を実施します。
		40	私立幼稚園における食育活動	野菜の栽培、「食育のつどい」への参加など、食に関する体験活動を通じて、食に関する興味・関心や食べ物を大切にする心と感謝の気持ちを育てます。また、楽しく、和やかな雰囲気の中でお弁当や給食をとる環境を整えることで、進んで食べようとする気持ちを育て、望ましい食習慣を形成します。	私立幼稚園の園児	こども未来局こども企画課	「食育のつどい」に、公益社団法人千葉市幼稚園協会が出展し、お弁当の写真の展示やレシピ配布、幼稚園における食育活動を紹介。	a	「食育のつどい」に、公益社団法人千葉市幼稚園協会が出展し、お弁当の写真の展示や収穫物の写真の展示等、幼稚園における食育活動を紹介。
		41	食に関する指導(授業）	体育科や家庭科等の年間指導計画に基づき、学級・学科担任等は、栄養教諭・学校栄養職員、企業等と連携し、教科等の特質を生かした授業や、学校給食や食育に関する教材を活用し、栄養バランスのとれた食事の大切さや基礎的・基本的な調理技術、食に関する知識、食文化について指導します。	小学生中学生	教育委員会指導課	各学校の児童生徒の実態に合わせて教科等ごとに年間指導計画を作成し、発達段階に応じた食に関する指導を計画的に行うよう指導した。学校訪問の際には、栄養教諭等と連携した授業もみられた。	a	各学校の児童生徒の実態に合わせて作成する教科ごとの年間指導計画のなかに、それぞれの発達段階に応じた食に関する指導を計画的に組み入れるよう、主任会等で指導する。
		41		体育科や家庭科等の年間指導計画に基づき、学級・学科担任等は、栄養教諭・学校栄養職員、企業等と連携し、教科等の特質を生かした授業や、学校給食や食育に関する教材を活用し、栄養バランスのとれた食事の大切さや基礎的・基本的な調理技術、食に関する知識、食文化について指導します。	小学生中学生	教育委員会保健体育課	各学校の実態に合わせて作成した食に関する指導の全体計画および年間指導計画に基づき、発達段階に応じて学校給食を教材として活用しながら、食に関する指導を各教科等において実施した。	a	体育科や家庭科等の年間指導計画に基づき、学級・学科担任等は、栄養教諭・学校栄養職員、企業等と連携し、教科等の特質を生かした授業や、学校給食や食育に関する教材を活用し、栄養バランスのとれた食事の大切さや基礎的・基本的な調理技術、食に関する知識、食文化について指導します。
		42	食に関する指導の全体計画の作成	学校における食育は、給食の時間、特別活動、各教科等のさまざまな教育内容に密接に関わっているため、計画的・体系的に指導を行うことが必要です。そのため、学校における食育の目標や具体的な取組の方針を示した全体計画を作成します。	〃	〃	全体計画を作成していない学校に対しては、研修会等で作成を促すとともに、既に作成している学校については、内容確認等を行い、実態に即した計画になるよう指導を行った。	a	学校における食育は、給食の時間、特別活動、各教科等のさまざまな教育内容に密接に関わっているため、計画的・体系的に指導を行うことが必要です。そのため、学校における食育の目標や具体的な取組の方針を示した全体計画を作成します。
		43	栄養教諭・学校栄養職員の個別的な相談指導	栄養教諭・学校栄養職員と養護教諭等が連携し、肥満、やせ、偏食、食物アレルギーについての個別的な相談指導を実施します。	〃	〃	養護教諭と連携しながら、個別的な相談指導を推進した。	a	栄養教諭・学校栄養職員と養護教諭等が連携し、偏食、肥満などについての個別の指導を実施します。

【調査表A】 第2次千葉市食育推進計画　取組み一覧表（平成26年度実績及び評価と平成27年度実施予定）

【評価基準】a：計画通りに取り組んだb：ほぼ計画通りに取り組んだc：計画通りに取り組めなかったd：事業廃止

基本施策	市の取り組み	No	関連事業	内容 （計画記載内容）	対象	所管	26年度実績	26年度実評価	27年度実施予定
2 保育所（園）、幼稚園、学校等における食育の推進	（2）指導体制の充実	44	職員研修の充実	保育所（園）における魅力ある効果的な食育の推進に向け、管理栄養士等や保育士・看護師等の職員を対象に、栄養管理、衛生管理、食に関する指導等の研修を行います。 食物アレルギーについて正しい知識の普及と「保育所における食物アレルギー対応の手引き」に関する研修を行います。	管理栄養士等 保育士 看護師等	こども未来局 保育運営課	給食担当者を中心に、衛生講習会2回開催（計185名参加）、食育についての研修、「保育と連動した食育」をテーマとした講演2回開催（計117名参加）	a	給食担当者を中心に、衛生管理や食育についての研修、「保育と連動した食育」をテーマとした講演等を受け、所内研修を行い、実践に活かす。
		44	職員研修の充実	栄養教諭・学校栄養職員や、給食指導主任等を対象に、栄養管理、衛生管理、食に関する指導、食物アレルギー等の研修を行います。	栄養教諭 学校栄養職員 給食指導主任等	教育委員会 保健体育課	栄養教諭・学校栄養職員を対象とした研修を実施するほか、給食主任を対象とした研修会を開催した。	a	栄養教諭・学校栄養職員や、給食指導主任等を対象に、栄養管理、衛生管理、食に関する指導等の研修を行います。
	（3）給食を通した食育の充実	45	特色ある保育所（園）給食	旬の食材を取り入れ栄養バランスのとれた献立を作成し、発達段階に応じた食事形態の給食を実施するとともに、一人ひとりに合った援助をします。 食に関する調査を実施して、子どもの現状を把握し、献立内容の充実および望ましい食習慣へつなげます。	入所（園）児童	こども未来局 保育運営課	子どもの喫食状況、栄養のバランス、家庭での食事状況を踏まえて栄養士が献立を作成し、発達の段階に応じた食事提供を行った。	a	子どもの喫食状況、栄養のバランス、家庭での食事状況を踏まえて栄養士が献立を作成し、発達の段階に応じた食事提供を行う。
		46	特色ある学校給食	交流給食や行事食、招待給食、バイキング、セレクト給食など、学校ごとに特色ある給食を実施します。	小学生 中学生	教育委員会 保健体育課	学校栄養職員等の研修会において特色ある給食形態の実践報告を行い、実施にあたっての留意点等を確認し、各学校の実態に合わせた取り組みを推進した。	a	交流給食や行事食、招待給食、バイキング、セレクト給食など、各学校ごとに特色ある給食を実施します。
		47	地元農産物を導入した学校給食の実施	新鮮な地元農産物を学校給食の食材料として積極的に取り入れ、地域の食文化や食に関する歴史、地元農業への理解を深めます。 食育の日（毎月19日）や市民の日（10月18日）等に、地元農産物を取り入れた特別メニューを実施します。	〃	〃	関係機関と連携して市内産農産物の利用を推進した。 小学校・特別支援学校では、年間3回の特別メニューや、年6回の市内産農産物を積極的に組み入れた共通給食を提供し、給食を食材として食育及び地産地消を推進した。（全9回） 10月から12月には千葉市産のコシヒカリを米飯給食に使用し、中学校では、特別栽培農産物のニンジン、バレイショなどを利用した。	a	新鮮な地元農産物を学校給食の食材料として積極的に取り入れ、地域の食文化や食に関する歴史、地元農業への理解を深めます。 食育の日（毎月19日）や市民の日（10月18日）等に、地元農産物を取り入れた特別メニューを実施します。
		47	地元農産物を導入した学校給食の実施	新鮮な地元農産物を学校給食の食材料として積極的に取り入れ、地域の食文化や食に関する歴史、地元農業への理解を深めます。 食育の日（毎月19日）や市民の日（10月18日）等に、地元農産物を取り入れた特別メニューを実施します。	〃	経済農政局 農政課	関係機関と連携して市内産農産物の利用を推進する。 小学校・特別支援学校では、年間3回の特別メニューや、年6回の市内産農産物を積極的に組み入れた共通給食を提供し、給食を食材として食育及び地産地消を推進した。（全9回） 10月から12月には千葉市産のコシヒカリを米飯給食に使用し、中学校では、特別栽培農産物のニンジン、バレイショ、ダイコンなどを利用した。	a	関係機関と連携して市内産農産物の利用を推進した。 小学校・特別支援学校では、年間3回の特別メニューや、年6回の市内産農産物を積極的に組み入れた共通給食を提供し、給食を食材として食育及び地産地消を推進する。（全9回） 10月から12月には千葉市産のコシヒカリを米飯給食に使用し、中学校では、特別栽培農産物のニンジン、バレイショなどを利用する。

【調査表A】 第2次千葉市食育推進計画　取組み一覧表（平成26年度実績及び評価と平成27年度実施予定）

【評価基準】a：計画通りに取り組んだb：ほぼ計画通りに取り組んだc：計画通りに取り組めなかったd：事業廃止

基本施策	市の取り組み	No	関連事業	内容 （計画記載内容）	対象	所管	26年度実績	26年度実評価	27年度実施予定
	（4）農業体験や食品の調理等の体験活動の推進	48	栽培・収穫体験	乳幼児が栽培・収穫活動を体験し、野菜を見たり育てたりする喜びを実感することで「食」への興味を育てます。	入所（園）児童	こども未来局保育運営課	各保育所(園)、認定こども園に応じた栽培・収穫活動を実施し、育てることの喜びを実感し、「食」への興味を育てていった。	b	栽培・収穫活動を通し、育てることの喜びを実感し、「食」への興味を育てる。
		49	クッキング保育（調理体験）	食材に目を向け、自分でかかわった料理を食べる楽しさやうれしさを体験し、調理することに関心をもつようにします。	〃	〃	皮むき等の食事づくりに関わる活動を取り入れ、食に関する興味・関心を持てるようにした。	b	皮むき等の食事づくりに関わることで、食に関する興味・関心を高め、食べ物への感謝の気持ちを育てる。
		50	農業体験	農業体験等を通して、自然の恩恵や食に関わる人々の様々な活動への理解を深められるようにします。	小学生 中学生	教育委員会指導課	各学校の年間指導計画に基づき、発達段階に応じた食に関する指導を行う。	a	農業体験等を通して、自然の恩恵や食に関わる人々の様々な活動への理解を深められるようにします。
		51	小学生の農山村留学事業	現地校との交流・地域の家庭へのホームステイ・自然体験・登山・炭焼き・野菜の収穫・樹木の伐採、枝打ち等、地域の特色を生かした体験活動の中で、作物の収穫、収穫したものを使っての調理、その地域の郷土料理づくりなどをとおして食に関する理解の促進を図ります。	小学生	教育委員会指導課	8月22日から25日まで3泊4日で19校の小学6年生1,070人が長野県の農山村留学に参加した。2校の小学6年生196人が茨城県常陸太田市での農山村留学を実施。92校の小学6年生が千葉県内の宿泊施設を利用した農山村留学に参加した。それぞれの地域の特性を生かした体験活動に基づき、子どもたちの自主性、創造性等の伸長を図ることができた。	a	ホームステイ・現地校との交流・自然体験・野菜の収穫・樹木の伐採、枝打ち等、地域の特色を生かした体験活動の中で、作物の収穫などの農作業を行ったり、その地域の郷土料理を作ったりしながら、豊かな心をはぐくみます。
	（5）保護者への普及啓発・地域との連携	52	給食の展示	給食について親子で会話し、食に関心を持ってもらうことや、子どもが食べる食事量の目安になるよう、保育所（園）で給食を展示し、作り方等を紹介します。	入所（園）児童 保護者	こども未来局保育運営課	年間を通して食事内容の展示を行った。レシピや掲示物等、展示コーナーの内容についても工夫して実施した。	b	年間を通して食事内容の展示ができるように工夫する。レシピや掲示物等、展示コーナーの内容についても工夫していく。
		53	ホームページでの情報提供	食育ホームページ“おいしい！元気！ちばキッズ”で、離乳食・幼児食のレシピや保育所での食育活動の様子などの情報を発信します。	市民	〃	保育所の献立（子どもたちに人気の保育所メニュー）のレシピ紹介、保育所での食育活動の紹介について更新した。	a	保育所の献立（子どもたちに人気の保育所メニュー）のレシピ紹介、こどもの食事Q&Aについて更新をする。
		54	食育だよりなどを通じた情報提供	お弁当のメニューや家庭での食事など健全な食生活に役立つ情報のPRを行います。	保護者	〃	スプーンや箸の持ち方など食事マナーに関する情報提供を行った。	b	朝食の大切さ、家族で食事、生活リズムに関する情報提供をしていく。
		54	食育だよりなどを通じた情報提供	お弁当のメニューや家庭での食事など健全な食生活に役立つ情報のPRを行います。	〃	教育委員会保健体育課	給食だよりや給食試食会等を活用して情報提供を行った。	a	お弁当のメニューや家庭での食事など健全な食生活に役立つ情報のPRを行います。
		55	家庭配付献立表を活用した情報提供	家庭での食育の関心を高めるため、献立表に、旬の食材を使ったレシピや、郷土料理の紹介など、食育に関する情報提供を行います。	〃	こども未来局保育運営課	毎月保護者に配付する献立表に「食べよう、豆と海藻」をキャッチフレーズとして豆や海藻を使ったメニューを取り入れ、その中の食材を紹介するミニコラム、19日の食育の日の献立レシピとして紹介した。	a	毎月保護者に配付する献立表に「野菜がたくさん食べられる保育所メニュー」を取り入れ、旬の野菜を紹介するミニコラム、19日の食育の日の献立のレシピ紹介をする。
		55	家庭配付献立表を活用した情報提供	家庭での食育の関心を高めるため、献立表に、旬の食材を使ったレシピや、郷土料理の紹介など、食育に関する情報提供を行います。	〃	教育委員会保健体育課	給食だよりや給食試食会、ホームページ等を活用して情報提供を行った。	a	家庭での食育の関心を高めるため、献立表に、旬の食材を使ったレシピや、郷土料理の紹介など、食育に関する情報提供を行います。
		56	食育フェスティバル	親子で楽しむ食育体験（食育講座、レシピ紹介等）を保育所にて開催します。	市民	こども未来局保育運営課	食育フェスティバルを実施。　11/1(土)高洲第三保育所　参加者数41名 11/8(土)平山保育所　参加者数41名	a	平成27年度実施予定なし

【調査表A】 第2次千葉市食育推進計画　取組み一覧表（平成26年度実績及び評価と平成27年度実施予定）

【評価基準】a：計画通りに取り組んだb：ほぼ計画通りに取り組んだc：計画通りに取り組めなかったd：事業廃止

基本施策	市の取り組み	No	関連事業	内容 （計画記載内容）	対象	所管	26年度実績	26年度実評価	27年度実施予定
	（1）市内産農畜産物への理解の促進	57	千葉市産農産物生産者認証制度	土壌診断の定期的な実施、農薬の適正使用の遵守、生産履歴の記帳、堆肥の利用等、市独自の基準を満たした生産者を認証します。	農業者	経済農政局農政課	市内産農産物生産者認証者数　187名。	a	市内産農産物生産者認証者数　191名。
		58	市内産農畜産物の認知度の向上	市民公募・市民投票で決定した「地産地消シンボルマーク」を千葉市産農産物生産者認証制度の認証マークとして活用し、市内産農産物の認知度を高めます。	市民	〃	地産地消推進キャンペーンとして実施した各種イベント等において、「千葉市産農産物生産者認証制度」及び「地産地消シンボルマーク」をPRし、市内産農産物の認知度の向上に努めた。	a	地産地消推進キャンペーンとして実施した各種イベント等において、「千葉市産農産物生産者認証制度」及び「地産地消シンボルマーク」をPRし、市内産農産物の認知度の向上に努める。
		59	市内産農畜産物のブランド化の推進	ブランド化の可能性を検討するため、古くから地域で生産される野菜等を調査するほか、新品目の栽培試験を行います。	農業者	経済農政局農政センター農業生産振興課	中央区稲荷町で古くから生産されている五田保トウガンの種採りを行った。	a	緑区下大和田町で古くから生産されている土気カラシナの種保存のため、種採りを行う。
		60	生産者による出張授業	生産者が小学校などを訪問し、市内産農産物の栽培から収穫・出荷までの仕事や、食の大切さなどについて授業を実施し、子どもたちの「食」と「農」に対する関心と理解を深めます。	小学生	経済農政局農政課	生産者による出張授業及び児童と生産者との給食の会食を実施した。 6月　春夏ニンジン 9月　牛乳 11月　キャベツ 11月　コマツナ 1月　秋冬ニンジン	a	生産者による出張授業及び児童と生産者との給食の会食を実施する。 5月　春夏ニンジン 11月　キャベツ 11月　コマツナ 1月　秋冬ニンジン
		60	生産者による出張授業	生産者が小学校などを訪問し、市内産農産物の栽培から収穫・出荷までの仕事や、食の大切さなどについて授業を実施し、子どもたちの「食」と「農」に対する関心と理解を深めます。	〃	教育委員会保健体育課	生産者による出張授業及び児童と生産者との給食の会食を実施した。	a	生産者が小学校などを訪問し、市内産農産物の栽培から収穫・出荷までの仕事や、食の大切さなどについて授業を実施し、子どもたちの「食」と「農」に対する関心と理解を深めます。
		61	千葉市地産地消推進連絡会議の実施	市内産農畜産物の安定的な生産と供給、生産者と消費者の交流促進、「食」や「農」に関する情報収集・提供など地産地消の推進に取り組みます。	生産者 農業団体 消費者団体 流通関係者	経済農政局農政課	地産地消推進キャンペーンとして実施した各種イベント等において、「千葉市産農産物生産者認証制度」及び「地産地消シンボルマーク」をPRし、市内産農産物の認知度の向上に努めた。	a	地産地消推進キャンペーンとして実施した各種イベント等において、「千葉市産農産物生産者認証制度」及び「地産地消シンボルマーク」をPRし、市内産農産物の認知度の向上に努める。

【調査表A】 第2次千葉市食育推進計画　取組み一覧表（平成26年度実績及び評価と平成27年度実施予定）

【評価基準】a：計画通りに取り組んだb：ほぼ計画通りに取り組んだc：計画通りに取り組めなかったd：事業廃止

基本施策	市の取り組み	No	関連事業	内容 （計画記載内容）	対象	所管	26年度実績	26年度実評価	27年度実施予定
3　地産地消の推進・環境にやさしい食育の推進	（2）地産地消の推進	62	地産地消キャンペーンの開催	新鮮で安全安心な農畜産物を、より多くの市民にPRし、「食」や「農」に対する関心を高めるために、各種イベント会場や販売店等で千葉市の農業の紹介や農畜産物の展示即売キャンペーンを開催します。	市民	経済農政局 農政課	地産地消推進キャンペーンとして以下の事業に参加し、千葉市農業のPRや市内産農産物の展示即売などを実施する。 ①千葉城さくら祭り ②第23回いま市 ③チーバくん物産館土曜市 ④土気あすみが丘プラザフリーマーケット ⑤「食育のつどい」 ⑥都市・農村交流イベント ⑦千葉市スペシャルデー ⑧土気サマーフェスティバル ⑨ゆりあげ港朝市 ⑩青少年のフェスタ ⑪富田コスモスまつり ⑫コミュニティまつり ⑬JFEまつり ⑭千葉市民産業まつり ⑮笑顔で働きたいママのフェスタ ⑯千葉県共同組合フェスティバル ⑰JA千葉みらい幕張支店農協まつり ⑱旬菜くらぶお客様感謝際 ⑲まなびフェスタ ⑳「イキイキいちば　早春イベント」 ㉑コープみらいフェスタきやっせ物産展 ㉒千葉市企業立地セミナー 他に朝市を実施 （月1回美浜区役所、稲毛区役所、花見川区役所）	a	地産地消推進キャンペーンとして以下の事業に参加し、千葉市農業のPRや市内産農産物の展示即売などを実施した。 ①千葉城さくら祭り ②楽市 ③「食育のつどい」 ④土気サマーフェスティバル ⑤青少年のフェスタ ⑥JFEまつり ⑦千葉市民産業まつり ⑧笑顔で働きたいママのフェスタ ⑨旬菜くらぶお客様感謝際 ⑩コープみらいフェスタきやっせ物産展 他に朝市を実施 （月1回美浜区役所、稲毛区役所、花見川区役所）
		63	市内産農産物の販売促進	市民に市内産農畜産物を購入してもらうため、直売所や観光農園でのもぎ取りなどのほか、スーパーなどの販売店での市内産農畜産物販売コーナーの設置を推進します。	生産者 農業団体 流通関係者	〃	観光農園が27か所あり、うち1か所の観光農園で身障者用トイレを整備） 市内直売所・インショップ調査を行った。	a	観光農園が27か所あり、うち1か所の観光農園で身障者用トイレを整備予定） 市内直売所・インショップ調査を行い、インショップ等の拡大を行う。
		64	地産地消の情報提供	直売所や観光農園の紹介など地産地消に関する様々な情報をホームページ、ソーシャルメディアなどを活用して提供します。	市民	〃	地産地消ホームページを拡充、更新し、千葉市産農産物の情報を消費者に発信した。	a	地産地消ホームページを拡充、更新し、千葉市産農産物の情報を消費者に発信する。
		65	旬の農産物の紹介	市内産農産物の旬を紹介し、市内農産物のPRに努めます。	〃	〃	地産地消ホームページにおいて、旬の市内産農産物を紹介するとともに、料理レシピ等の情報を発信した。	a	地産地消ホームページにおいて、旬の市内産農産物を紹介するとともに、料理レシピ等の情報を発信する。
		66	給食への市内産農産物の導入	小・中学校等における給食での市内産農産物の利用拡大を図ります。	小学生 中学生等	〃	関係機関と連携して市内産農産物の利用を推進する。 小学校・特別支援学校では、年間3回の特別メニューや、年6回の市内産農産物を積極的に組み入れた共通給食を提供し、給食を食材として食育及び地産地消を推進する。（全9回） 10月から12月には千葉市産のコシヒカリを米飯給食に使用し、中学校では、特別栽培農産物のニンジン、バレイショなどを利用した。	a	関係機関と連携して市内産農産物の利用を推進する。 小学校・特別支援学校では、年間3回の特別メニューや、年6回の市内産農産物を積極的に組み入れた共通給食を提供し、給食を食材として食育及び地産地消を推進する。（全9回） 10月から12月には千葉市産のコシヒカリを米飯給食に使用し、中学校では、特別栽培農産物のニンジン、バレイショなどを利用する。
		66	給食への市内産農産物の導入	小・中学校等における給食での市内産農産物の利用拡大を図ります。	〃	教育委員会 保健体育課	関係機関と連携して積極的に市内産農産物の使用を推進した。	a	小・中学校等における給食での市内産農産物の利用拡大を図ります。

【調査表A】 第2次千葉市食育推進計画　取組み一覧表（平成26年度実績及び評価と平成27年度実施予定）

【評価基準】a：計画通りに取り組んだb：ほぼ計画通りに取り組んだc：計画通りに取り組めなかったd：事業廃止

基本施策	市の取り組み	No	関連事業	内容 （計画記載内容）	対象	所管	26年度実績	26年度実評価	27年度実施予定
	（3）生産者と消費者との交流と体験活動の促進	67	ふるさと農園事業	農作物の生産や加工、実習を通して土や自然に親しみ、農業に対する理解を深めるとともに、都市部と農村部の情報交換、ふれあいの場を提供します。	市民	経済農政局 農政センター 農業経営支援課	農業体験教室等受講者数　2，347人	a	農作物の生産や加工、実習を通して土や自然に親しみ、農業に対する理解を深めるとともに、都市部と農村部の情報交換、ふれあいの場を提供します。
		68	市民農園・体験農園・観光農園の整備と利用促進	生産から収穫まで、気軽に市民が農業に接することができる場として、市民農園・体験農園・観光農園の整備を推進します。	〃	経済農政局 農政課	市民農園34か所（うち2か所新規に整備）、観光農園27か所（うち1か所の観光農園で身障者用トイレを整備）の情報を提供した。	a	市民農園34か所、観光農園27か所の情報を提供する。
	（4）地元でとれる農畜産物を活かした料理の普及	69	郷土料理の普及啓発	食生活改善推進員の地区組織活動やホームページを利用し、地元で生産される食材を活かした料理の普及を図り、地産地消を推進します。伝統料理や郷土料理の掘り起こしと普及啓発を推進します。	〃	健康福祉局 健康支援課	「太巻き寿司を作ろう」バラの花やたれパンダ、ちはなちゃんなど5種類の作り方をホームページに掲載した。 　また、地区伝達活動(小学校や中学校の活動を含む)において、普及を図った。	a	伝統料理や郷土料理を取り入れた地区伝達活動を実施予定
		70	下田農業ふれあい館（下田都市農業交流センター）	地元で生産された新鮮で安全安心な農畜産物等の販売や、地元農畜産物を活用した料理の提供を通じ、都市部と農村部の市民交流を促進し、農業の振興を図ります。	〃	経済農政局 農政センター 農業経営支援課	利用者数　　農産物直売所　63，169人 　　レストラン　11，464人 　　合計　　74，633人 ＊レジ通過者数で算出	a	地元で生産された新鮮で安全安心な農畜産物等の販売や、地元農畜産物を活用した料理の提供を通じ、都市部と農村部の市民交流を促進し、農業の振興を図ります。
		71	千葉市地産地消推進業務委託	市民等に対し、市内産農産物に関する消費拡大啓発や料理講習会、収穫体験を実施することにより、市内産農産物を認識してもらうとともに、農業や食に対する理解を深めます。	〃	経済農政局 農政課	地産地消推進業務委託を行い、千葉市産農産物の展示・販売と同時に千葉市産農産物生産者認証制度のPRを行った。	a	地産地消推進業務委託を行い、千葉市産農産物の展示・販売と同時に千葉市産農産物生産者認証制度のPRを行う。

【調査表A】 第2次千葉市食育推進計画　取組み一覧表（平成26年度実績及び評価と平成27年度実施予定）

【評価基準】a：計画通りに取り組んだb：ほぼ計画通りに取り組んだc：計画通りに取り組めなかったd：事業廃止

基本施策	市の取り組み	No	関連事業	内容 （計画記載内容）	対象	所管	26年度実績	26年度実評価	27年度実施予定
3 地産地消の推進・環境にやさしい食育の推進	（5）環境にやさしい食育の推進	72	エコ料理の普及啓発	一人ひとりが「買い物」「料理」「片づけ」において環境を考えた食生活を送れるよう、食材やエネルギーの無駄を減らす「エコ料理」の普及啓発するためにエコレシピ料理講習会を実施します。	市民	保健福祉局 健康支援課	地区研修、地区伝達において、エコ料理の普及啓発を行った。5会場　延べ参加者141人	b	エコ料理に留意しながら、地区伝達活動を実施予定
		72	エコ料理の普及啓発	一人ひとりが「買い物」「料理」「片づけ」において環境を考えた食生活を送れるよう、食材やエネルギーの無駄を減らす「エコ料理」の普及啓発するためにエコレシピ料理講習会を実施します。	〃	環境局 廃棄物対策課	エコレシピ料理講習会開催 6回　計92人	b	一人ひとりが「買い物」「料理」「片づけ」において環境を考えた食生活を送れるよう、食材やエネルギーの無駄を減らす「エコ料理」の普及啓発するためにエコレシピ料理講習会を実施します。
		73	3R教育・学習の推進 Reduce(発生抑制) Reuse（再利用） Recycle（再生利用）	幼児用・小学生用の3R啓発教育図書を活用するとともに、ごみの分別方法や再資源化について、保育所等での未就学児への啓発や小学校での「ごみ分別スクール」において食べ物を大切にすることを伝えます。	幼児 小学生 保護者	〃	分別スクール実施 市内全小学校114校　8，600人参加	a	幼児用・小学生用の3R啓発教育図書を活用するとともに、ごみの分別方法や再資源化について、保育所等での未就学児への啓発や小学校での「ごみ分別スクール」において食べ物を大切にすることを伝えます。
		74	生ごみの減量・再資源化の推進	生ごみ減量処理機や肥料化容器の普及、生ごみの再資源化（メタンガス化等）の促進など、食べ残しや食品廃棄等により発生する生ごみの減量や再資源化に効果的な取り組みを推進します。	市民	〃	・生ごみ減量処理機等購入助成 補助金上限の拡充（生ごみ減量処理機20，000円→35，000円、生ごみ肥料化容器3，000円→4，000円） 補助金交付　456基（生ごみ減量処理機　167基、生ごみ肥料化容器　289基） ・生ごみ分別収集特別地区事業 2，760世帯　247トン	a	生ごみ減量処理機や肥料化容器の普及、生ごみの再資源化（メタンガス化等）の促進など、食べ残しや食品廃棄等により発生する生ごみの減量や再資源化に効果的な取り組みを推進します。
		75	生ごみ資源化アドバイザーの養成・派遣	生ごみ資源化アドバイザーを養成・派遣して、効果的な資源化を推進します。	〃	〃	養成講座　1回 登録人数　111人 派遣回数　22回	a	生ごみ資源化アドバイザーを養成・派遣して、効果的な資源化を推進します。
		75	学校における食品ロス削減の啓発	－	小学生 中学生	〃	－	—	人間形成に多大な影響を与える少年期において、食品ロスの現状を認識して食べ物を大切にする習慣づけを促すとともに、生徒をもつ家庭への間接的な波及を図る。
		76	環境にやさしい農業の推進	農業の環境への負荷を軽減するため、農薬や化学肥料を削減した環境にやさしい農業を推進します。	農業者	経済農政局 農政センター 農業生産振興課	土づくりと適正な施肥のための土壌診断1,040件実施。 千葉大学との共同研究で、「環境にやさしい農業推進のための千葉市発土着天敵の有効利用について」に取り組んだ。	b	土づくりと適正な施肥のための土壌診断1,300件実施する。 土壌に関する専任アドバイザーを設置し、現在の化学性診断に加え、物理性の診断を行う。

【調査表A】 第2次千葉市食育推進計画　取組み一覧表（平成26年度実績及び評価と平成27年度実施予定）

【評価基準】a：計画通りに取り組んだb：ほぼ計画通りに取り組んだc：計画通りに取り組めなかったd：事業廃止

基本施策	市の取り組み	No	関連事業	内容（計画記載内容）	対象	所管	26年度実績	26年度実評価	27年度実施予定
4 食の安全・安心に関する情報の提供	（1）食品の安全性に関する情報の提供	77	食に関する講座の実施	講座等を開催し、食に関する知識の普及啓発を図ります。	市民	市民局 消費生活センター	・消費生活講座 秋休み「親子エコ・クッキング」 参加者数：17人 ・消費者サポーター養成講座 「JAS法に基づく食品表示の基礎知識」 参加者数：15人	a	食に関する講座等を実施します。 ・講演会　1回 ・消費者サポーター養成講座
		78	食品衛生に関する講習会の実施	事業者や従業員向けの講習会を実施するほか、市民等からの依頼に職員を派遣し、食品衛生に関する知識の普及啓発を図ります。	市民 食品関係事業者	保健福祉局 生活衛生課	○営業者、消費者等を対象とした衛生講習会の実施 ・営業者等対象の衛生講習会の実施　99回　4,647名 ・消費者対象の衛生講習会の実施　　13回　284名	a	営業者、消費者等を対象とした衛生講習会の実施
		79	リスクコミュニケーションの推進	食の安全に関する講演会、食品衛生監視指導計画に関する意見交換会等を実施します。	〃	〃	①食の安全に関する講演会・意見交換会の実施 ・実施日：1月29日 ・場　所：千葉市総合保健医療センター5階大会議室 ・講演名：「わかりやすい食品表示」 － 消費者の商品購入時における食品表示の賢い見方とポイント － ・講　師　イカリ消毒株式会社　技術顧問　石黒　厚（いしぐろ　あつし） ・参加者：38名 ②平成27年度千葉市食品衛生監視指導計画(案)に係るパブリックコメント手続の実施 ・期間：1月5日～2月4日 ・意見：1人から9件	a	○食の安全に関する講演会及び平成28年度千葉市食品衛生監視指導計画に関する意見交換会の実施 平成28年1月頃 ○平成28年度千葉市食品衛生監視指導計画(案)に係るパブリックコメント手続の実施 平成28年1月～2月
		80	ホームページ等による情報提供	ホームページ、情報紙、パンフレットなど各種媒体を用いて食品の安全等に関する情報提供を迅速かつわかりやすく提供します。	〃	〃	①食品の放射性物質関係情報 ・食品の放射性物質検査結果　50回 ②食品衛生法違反者の公表 ・違反者公表（食中毒事件）　8回 ③食品の自主回収情報　　7回 ④食品衛生に係る最新情報 ・国、県からの通知に基づく注意喚起等　11回 ・有毒植物による食中毒予防 ・冷凍ししゃもに係る異物混入の注意喚起 ・ふぐの混入による食中毒予防 ・アニサキスによる食中毒予防 ・健康食品利用の注意喚起 ・ノロウイルスによる食中毒予防 ・食肉の生食への注意喚起 ⑤監視指導関係 ・パブリックコメント手続の実施（監視指導計画の策定） ・監視指導計画の実施結果（概要版、詳細版） ・食中毒注意報・警報の発令 ・食中毒予防パレードの実施 ・年末特別監視の実施	a	①食品の放射性物質関係情報 ②食品衛生法違反者の公表 ③食品の自主回収に係る情報 ④食品衛生に係る最新情報 ⑤監視指導関係

【調査表A】 第2次千葉市食育推進計画　取組み一覧表（平成26年度実績及び評価と平成27年度実施予定）

【評価基準】a：計画通りに取り組んだb：ほぼ計画通りに取り組んだc：計画通りに取り組めなかったd：事業廃止

基本施策	市の取り組み	No	関連事業	内容 （計画記載内容）	対象	所管	26年度実績	26年度実評価	27年度実施予定
		80	ホームページ等による情報提供	ホームページ、情報紙、パンフレットなど各種媒体を用いて食品の安全等に関する情報提供を迅速かつわかりやすく提供します。	市民	市民局 消費生活センター	・暮らしの情報いずみ7月号で食中毒に関する情報提供を実施した。 ・食の安全についての情報をホームページに掲載し、随時更新した。	a	・暮らしの情報いずみで食の安全に関する情報提供を実施する。　・食の安全についての情報をホームページに掲載し、随時更新する。
		81	食品衛生監視指導計画策定・結果公表	保健所等が実施する食品営業施設等の立入検査や食品、添加物等の試験検査について年間計画を策定し、その結果を公表します。	市民 食品関係事業者	保健福祉局 生活衛生課	○食品衛生監視指導計画に基づく監視指導及び検査の実施 ・監視指導件数 　要許可施設　11,669件 　不要許可施設　14,585件 ・検査結果 　検体数　800検体 　検査項目数　21,403項目 ○監視指導計画のホームページによる公表 ・監視指導計画の策定及び実施結果についてホームページにて公表	a	・平成26年度食品衛生監視指導計画実施結果の公表 ・平成28年度食品衛生監視指導計画策定のためのパブリックコメント手続の実施及び計画の公表
		82	食品衛生に関する広報活動の実施	食中毒予防パレード、市政だより等により、食品衛生に関する広報活動を実施します。	市民 食品関係団体 食品関係事業者	〃	○市政だよりへ、食品衛生夏期対策期間等を掲載 　・6月1日号及び8月1日号に掲載 ○広報車による広報活動（食中毒予防パレード） 　・広報車　食中毒パレード　8月7日 　（5台の広報車で市内一円を巡回） ○消費者対象の衛生講習会の実施 　・消費者対象の衛生講習会の実施　13回　284名	a	・市政だよりに食品衛生夏期対策期間等を掲載 ・市内を広報車でまわる食中毒予防パレードの実施 ・食中毒注意報、警報の周知
		83	自主的な衛生管理体制の推進	食品衛生推進員による巡回指導、事業者による食品の自主検査の実施など自主的衛生管理の推進を図ります。	市民 食品関係事業者	〃	○食品衛生推進員による食品営業施設等の巡回指導 　・食品衛生推進員に、食品営業施設等の巡回指導を実施させ食品関係団体等における自主管理体制の促進に努めた。 　延べ活動人数　113名 　延べ自主管理指導施設　1,978施設	a	○食品衛生推進員による食品営業施設等の巡回指導

【調査表A】 第2次千葉市食育推進計画　取組み一覧表（平成26年度実績及び評価と平成27年度実施予定）

【評価基準】a：計画通りに取り組んだb：ほぼ計画通りに取り組んだc：計画通りに取り組めなかったd：事業廃止

基本施策	市の取り組み	No	関連事業	内容 （計画記載内容）	対象	所管	26年度実績	26年度実評価	27年度実施予定
5 食育推進運動の展開と連携・協力体制の確立	（1）食育推進運動の展開 （2）関係機関・団体等との連携・協力体制の確立 （3）食育推進に関わる人材の育成・支援	84	食育のつどい	毎年6月に関係機関・団体と連携したイベント「食育のつどい」を開催します。	市民 関係機関・団体等	保健福祉局 健康支援課	千葉市健康づくり推進協議会食育推進部会の団体の協力を得て、食育の普及啓発を実施。 実施日：平成26年6月28日（土）10時～17時 会場：ワンズモール1階アトリウム 参加者数（延）：6,484人 内容：食育の普及啓発　10ステージ、展示10コーナー	a	毎年6月に関係機関・団体と連携したイベント「食育のつどい」を開催します。関係団体と協働することで効果的に食育を推進します。 実施日：平成27年6月27日（土） 会場:アリオ蘇我1階サンコーと広場、屋外イベント広場 参加者数（延）：6,315人
		85	市民健康づくり大会	体育の日から始まる一週間の「市民健康づくり週間」に、健康づくり運動の推進団体と連携して、栄養・食生活等をテーマに「市民健康づくり大会」を開催します。	市民	〃	きぼーるにて健康づくりに関する各種相談や指導・展示を主とするイベントを開催 実施日：平成26年10月18日 参加団体：24団体 入場者数：2,330人（延べ7,259人）	a	「市民健康づくり週間」中に、健康づくり運動の推進団体と連携して「市民健康づくり対大会」を開催 実施予定日：平成27年10月17日
		86	食育総合ホームページの充実	ホームページにおいて保育所（園）・幼稚園・学校や関係機関・団体等の取組み、食の安全、地産地消、健康づくりなど食育に関する情報を提供します。	〃	〃	保育運営課で「おいしい！元気！ちばキッズ」、農業生産振興課で「千葉市の食と農をつなぐページ　ようこそ！地産地消推進ページ」、健康支援課でも食育に関するホームページを開設している。	b	ホームページを活用し広く食育に関する情報を提供します。
		87	地域食生活連絡会	地域における食のネットワークづくりを目的に「地域食生活連絡会」を開催します。食育の取組みについての情報交換や、食育教材・献立の作成等を行います。	保育所（園）・幼稚園・学校保健福祉センターの管理栄養士等と食生活改善推進員等	〃	各区保健福祉センターにおいて、食育の取り組みについての情報交換や食育教材・献立の作成等を実施した。 会場：7回　参加者：288人	a	地域における食のネットワークづくりの強化を図ります。
			地域食生活連絡会	地域における食のネットワークづくりを目的に「地域食生活連絡会」を開催します。食育の取組みについての情報交換や、食育教材・献立の作成等を行います。	〃	こども未来局 保育運営課	保育所（園）、学校、保健（福祉）センターの管理栄養士等と食生活改善推進員をメンバーとする地域食生活連絡会を開催。食育の取り組みについての情報交換を行った。	a	保育所（園）、認定こども園、学校、保健（福祉）センターの管理栄養士等と食生活改善推進員をメンバーとする地域食生活連絡会を開催。食育の取り組みについての情報交換を行う。
			地域食生活連絡会	地域における食のネットワークづくりを目的に「地域食生活連絡会」を開催します。食育の取組みについての情報交換や、食育教材・献立の作成等を行います。	〃	教育委員会 保健体育課	保育所（園）、学校、保健（福祉）センターの管理栄養士等と食生活改善推進員をメンバーとする地域食生活連絡会においてそれぞれの食育の取り組みについての情報交換や食育教材・献立の作成等を行った。	a	地域における食のネットワークづくりを目的に「地域食生活連絡会」を開催します。食育の取組みについての情報交換や、食育教材・献立の作成等を行います。

【調査表A】 第2次千葉市食育推進計画　取組み一覧表（平成26年度実績及び評価と平成27年度実施予定）

【評価基準】a：計画通りに取り組んだb：ほぼ計画通りに取り組んだc：計画通りに取り組めなかったd：事業廃止

基本施策	市の取り組み	No	関連事業	内容 （計画記載内容）	対象	所管	26年度実績	26年度実評価	27年度実施予定
		88	地域健康づくり支援ネットワーク事業	医療機関をはじめとする関係機関や地域住民等で構成する「地域健康づくり支援連絡会」を開催し、健康づくり情報や健康課題を共有し、市民への働きかけを行います。また、バランスのよい食事のとり方や生活習慣病予防等について掲載した「健康づくり支援マップ」を作成し、普及啓発を行います。	市民	保健福祉局 健康支援課	・地域の関係者等による情報共有と啓発方法の検討等を行う「地域健康づくり支援連絡会」を、6区にて11回実施 ・「健康づくり支援マップ」を作成配布し区民の健康づくりを啓発 ・各区民まつり等イベントにおいて生活習慣病予防に関する普及啓発	a	医療機関をはじめとする関係機関や地域住民等で構成する「地域健康づくり支援連絡会」を開催し、健康づくり情報や健康課題を共有し、市民への働きかけを行う。、またバランスのよい食事のとり方や生活習慣病予防等について掲載した「健康づくり支援マップ」を作成し、普及啓発を行う。
		89	地域・職域連携推進事業	働き盛り層の健康づくり推進のため、市内の事業所を対象に、健康診査受診率の向上・生活習慣病の予防をはじめとした食育を含む健康づくりについて、地域と職域に関わる組織が連携し、情報発信を行います。	市内事業所	〃	働き盛り世代の健康課題についての情報共有と審査のための会議を開催した。また各組織が連携し、働き盛り世代の健康づくり推進のため作成したパンフレットの事業所配布や、事業所での出前講座等を行なった。	a	市内の事業所を対象に、健康診査受診率の向上・生活習慣病の予防をはじめとした食育を含む健康づくりについて、地域と職域に関わる組織が連携し、各種情報発信を行う。
		90	食生活改善推進員の養成・育成	食を通して地域の健康づくりのためのボランティア活動を行う食生活改善推進員の養成・育成を行います。	市民	〃	若葉保健福祉センターで食生活改善推進員の養成を行った。 修了者人数：27人	b	花見川保健福祉センターを会場に食を通して地域の健康づくりのためのボランティア活動を行う食生活改善推進員の養成・育成を行います。